



代表取締役 伊藤 雅敏

企業概要

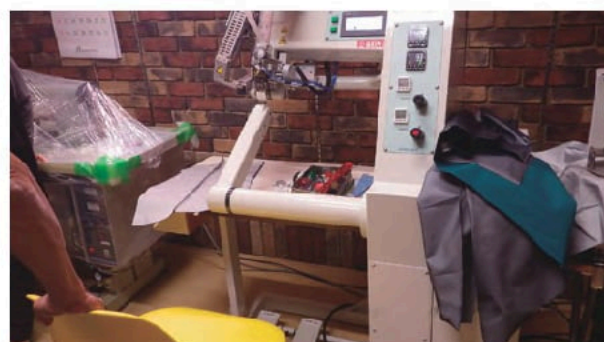
特殊な防護用制服の生産に要する設備を整え、 高まるニーズに対応

概要

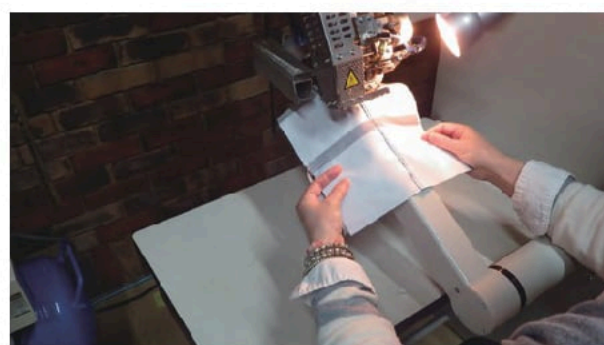
補強材カット用のレーザーカッター、特殊繊維カット用の超音波マシン、シームテープ貼り機を導入し、特殊な制服の小ロット製作に対応できる生産体制を構築

本事業への取り組みの経緯

これまでメンズカジュアル等の一般向けアパレル製品から、スノーボード・スキーウェアなどシーズン物の製品まで、幅広い製品の商品化をサポートしてきた。その中で約20年前から、制服関連の専門商社との取引が拡大。当初は一般的な制服用シャツやマーチング隊の衣装等を手掛けてきたが、防火服など特殊な制服製作の依頼があり、型紙作成までの請け負いを始めた。その後、ニーズのさらなる高まりから、サンプル製作や小口量産までを一貫してできる生産体制を社内で整えるため、防火服や特殊部隊用の防刃・防弾服等の生産に必要な設備の導入を図ることとした。



ファスナー等の溶着に使用する補強材カット用レーザーカッター



縫合部位の気密・水密確保用シームテープ貼り機



特殊繊維カット用の超音波マシン

事業概要

防刃・防弾服に使用するメーカーオリジナルの防刃素材は、刃物による切り付けに強いため、ハサミで切ることができない。そこで、超音波で生地を溶断する特殊繊維カット用の超音波マシンを導入し、社内での裁断を可能にした。また、ファスナー等の付属品を取り付ける際、補強材として使用するテープを均等にカットできるよう専用のレーザーカッターと、防火服における縫合部位の気密・水密を確保するためのシームテープ貼り機を導入し、作業効率の向上を図った。

事業成果

機器導入により、消防向けの防火服、警察向けの防刃・防弾服について、デザイン企画からサンプル製作、製品作成までの一元的な製作依頼を受けることができるようになった。シーズン物のスノーボード・スキーウェアについても、従来は型紙製作までに留まっていたが、一貫した社内生産が可能となった。

また、それまで外注で行っていた作業を内製化することで、コスト削減や時間の短縮につながり、作業効率も格段に向上。新たな機器の導入に伴い、作業スタッフを増員したほか、量産にもスムーズに対応できるよう、工場を本社近くに移設した。こうした体制のもと、自社で型紙・デザインから新たな商品のアイデアを考え、取引先に提案することができるようになった。

事業の活用状況 (補助事業実施後の取り組み)

現在は、導入した3つの機器を使用し、新型防火服のサンプルを作製している。当社で生産した防火服や特殊部隊用の制服は、軽さと動きやすさを重視し、機能性を高めており、全国の関係各所で好評を博している。

また、メーカーがオリジナルで開発した防刃素材を社内で加工できるようになったことから、ストーカー被害などから身を守る、防犯用の商品等として多角的な提案を行い、メーカーと共同で一般向けの新商品を企画。デザインからパターン作

成、特殊繊維カットから縫製までを行い、各展示会に出展するためのサンプルを作製している。

さらに、本事業で得た技術を活用し、カジュアル向けの防水商品を企画。サンプルを作製し、メーカーを通して営業をかけてもらうなど、新たな事業展開につなげている。



防火服のサンプル



防刃素材を取り入れた、一般向けの商品を提案